

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

2023年従業員ブラック企業の不満投稿が多い JR東日本が第1位に

主な投稿内容

- 人出不足なのに、人を減らしているため、現場が回っていない
- どこも人手が足りなくて休日出勤が常態化。年間で20日以上休みが減った職場もある
- 人員が減少し、以前より少ない人数で仕事しなければならず、体力的にも精神的にも限界
- 育児介護制度があっても使えないことが多い。育児や介護について周囲の理解が得られず、定時に帰れない
- 基本給が安く抑えられていて、ボーナスでとんとんになる。しかしコロナ禍でボーナスがカットされて厳しくなっている
- マルチタスクを任せられるようになったが、逆に手当が減り、年収が下がった



業務融合化や職名廃止等を主導した喜勢次期社長。「労組対策の功労者」ということで紹興酒事件があつても社長就任が決まった。

ダイヤモンド・オンラインの「ブラック企業ランキング2023」でJR東日本は第1位となりました。（23年1月から12月までの1年間で職場の労働者によるネガティブな口コミを集めたランキング）
投稿内容は業務融合化や「鉄道部門4千

鉄道業務をないがしろにするな

人削減」など、喜勢次期社長が主導してきた施策への不満や不安、怒りがあふれています。働き方だけでなく、コロナ禍を口実に強行された一時金削減や定昇カットなどへの怒りも当然です。

職名廃止・業務融合化やジョブローテーションなど、鉄道業務とそこで働く仲間をないがしろにするJRは絶対に許せません。それは鉄道の安全にも直結する問題です。

1月23日の東北新幹線での停電・感電事故について、元JR社員でライトレール社長という人物まで「合理化で要員削減が進んでいる」「鉄道事業より関連事業が重視されている」等と語っています。その中で重大事故が続発しています。会社の施策を止め、鉄道の安全も労働者の権利も守る力は、職場の団結と闘う労働組合です。3月ダイ改・融合化・統括センター化反対、職名廃止・ジョブローテーション撤回の声をあげよう。